



ムルコット地区ジグザグ道路



世界で活躍する  
日本の建設企業



スンコシ川に沿った道路

# シンズリ道路 建設計画 第三工区

株式会社間組 シンズリ道路セクション3作業所 所長

**猪狩哲夫**

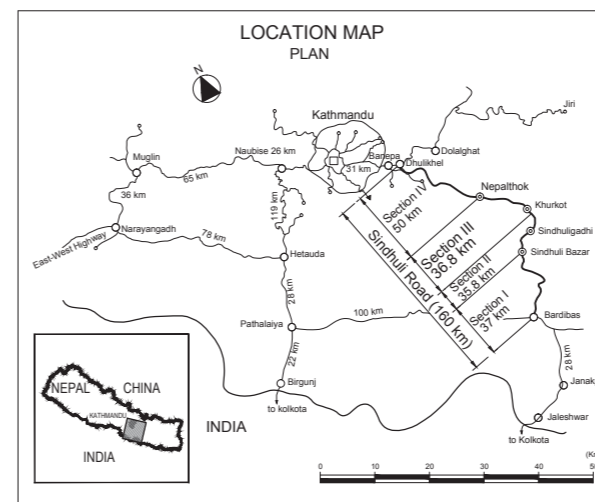
Tetsuo Igari



## ネパールについて

ネパール連邦民主共和国は、南をインド、北を中国に挟まれた、東西九〇〇キロメートル、南北二〇〇キロメートル、面積一五万平方キロメートルの小国です。南北方向の標高差が八、七〇〇メートル以上もあり、また地殻変動も顕著なため、急峻な地形と複雑な地盤が特徴となっています。

ネパールは、一九九〇年以降の激しい民主化運動を経て、約二四〇年間続いた王政を二〇〇八年五月に廃止し、共和制を宣言しました。その



シンズリ道路位置図

後、制憲議会（憲法を制定する議会）が発足し、和平プロセスが進みました。しかし、憲法制定の枠組みの遅れから、政党間の思惑による与野党の調整が難航し、議会の延長、首相の辞任、新首相選出の遅れなどから、結局、今年五月を期限とした議会内での憲法制定は実現しませんでした。すでに四年以上にわたって暫定憲法下の政治運営となっており、今後の憲法制定への道のりは依然として不透明な状況です。

このような背景の中、各種政党・団体による強制ゼネストが各所で勃発しているほか、食料品や燃料などのインフレも起こっており、国民生活を圧迫しています。

## シンズリ道路の紹介

ネパールでは、道路・交通インフラの整備が著しく遅れています。このシンズリ道路は、首都カトマンズと南部のバルディバスを結ぶ一六〇キロメートルの重要幹線道路として計画され、インド交易の物量拡大、道路開発による地域産業の活性化と地域生活向上などが期待されています。

日本政府は、本プロジェクトに対し一九九六年より無償資金協力事業として支援しており、二〇一四年度の全線開通を目指しています。

また、この道路建設を基軸として、接続する地方道路の橋梁整備や、道路維持管理運営強化、

沿線の高価値農業促進計画、地域の調停能力強化などのプロジェクトにより、地域開発の面的拡大も含めた支援も続けています。

## プロジェクトの概要

シンズリ道路は四つの工区に分かれており、一、二工区及び四工区の累計二二三キロメートルはすでに完成し、一般道路として供用されています。現在は三工区の一期工事分一四・二三キロメートルの建設工事を完了し、二期工事に着手したところです。

一期工事の主な工事数量は、土工事三六万立方メートル、コンクリート四万立方メートル、ギャビオン



ギャビオン

## 工事における安全管理

三一カ月の工事期間中、従事した職員・作業員は延べ八九万人にのぼり、ピーク時には一日の作業員数が二、〇〇〇人を超えました。このため、ネパール人に対する安全の意識付けが重要でした。特に、不慣れた大型機械の作業や、狭い箇所での機械・人力競合作業などに、細心の注意を払いました。ネパールにおける三〇年間に及ぶハザマの工事経験と、当現場でのさまざまな安全活動の工夫により、四九〇万時間無災害を達成することができました。

二期工事は始まったばかりですが、ネパールと日本の友好をつなぐ立派な道路を完成させるべく、心を新にして日々努力を重ねています。